

逆引き

# 活動事例集



農地・水・環境保全向上対策  
( 環境向上活動編 )

高めよう **地域共同の力!!**



平成23年3月

山形県農地・水・環境保全向上対策地域協議会



# 逆引き活動事例集 環境向上活動編

平成19年度にスタートした農地・水・環境保全向上対策は、農業の持続的発展と農業・農村の多面的機能の発揮に向け、地域における農地や農業用水、農村環境の良好な保全とその質的向上を図るために、地域ぐるみで行う効果の高い共同活動と先進的な営農活動を一体的かつ総合的に支援しております。

本冊子は、共同活動として行われた生態系保全や景観形成など農村の環境を保全する取組を紹介することにより、今後、県内各地で特色のある活動が実施されることを期待して作成いたしました。

なお、本冊子で紹介する活動事例が、どんな地域でもできるというものではありませんので、それぞれの地域でそれぞれの実情に応じた創意工夫を凝らした活動に取り組まれるよう祈念申し上げます。

## 生態系保全活動

### ◆ 地域に生息する生き物を調べたい

P1

広げよう環境活動を！	対馬地区環境保全協議会	三川町	P1
農業用水路を活用した生活環境保全活動	群鏡地域保全会	酒田市	P2
農業用水を利用した水質調査と地域に生息する生き物調査	共栄地区水土里保全会	真室川町	P3
地域が連携して生き物調査	蚕桑地域保全協議会	白鷹町	P4

### ◆ 蛍の保全活動に取り組みたい

P5

蛍の棲める環境を守れ!!	漆野美土里会	金山町	P5
「ホタルの里整備」で水もきれいに！	細の原地区農地・水・環境保全会	最上町	P6
ゲンジボタルの里を子孫につなぐ	上鶴杉地区資源保全協議会	最上町	P7
ホタルの里づくりを目指した保全活動	上叶水地域保全会みどりの会	小国町	P8
ホタルが乱舞する里づくり	行沢地域活動組織	尾花沢市	P9

### ◆ 蝶々の保全活動に取り組みたい

P10

生態系保存にける地域住民活動	川前地区農地・水・環境保全会	大石田町	P10
----------------	----------------	------	-----

### ◆ 魚の保全活動に取り組みたい

P11

イバラトミヨ保護施設の適正管理	板井川地区資源環境保全隊	鶴岡市	P11
農業用水を利用した放流による交流活動	工藤沢地域保全	庄内町	P12

### ◆ 生き物の生息空間(ビオトープ)を作りたい

P13

ビオトープの設置と環境意識の啓発	ふじしまエコフィールド協議会	鶴岡市	P13
環境保全活動でさらに活気のある地域づくり	神田集落資源保全隊	戸沢村	P14
水田を利用したビオトープ・花の植栽	太折地区保全会	舟形町	P15

- |                             |             |      |            |
|-----------------------------|-------------|------|------------|
| ◆ <b>ため池を活用した活動に取り組みたい</b>  |             |      | <b>P16</b> |
| 農業用ため池における生態系保全活動           | 米地区保全会      | 鮭川村  | P16        |
| 白鳥の湖 野々村ため池の生態系保全活動         | 野々村地区水土里保全会 | 真室川町 | P17        |
| 諏訪神社沼を核にした地域づくり             | 野黒沢環境改善団体   | 尾花沢市 | P18        |
| ◆ <b>休耕田を活用した活動に取り組みたい</b>  |             |      | <b>P19</b> |
| 休耕田を活用したクレソン植栽活動            | 中沢地域保全会     | 戸沢村  | P19        |
| ◆ <b>ブラックバスなどの外来種を駆除したい</b> |             |      | <b>P20</b> |
| 在来魚を呼び戻せ 外来魚駆除作戦            | 水土里育む杉島     | 村山市  | P20        |
| 特定外来生物(ブラックバス)の駆除           | 馬町米出地域保全会   | 鶴岡市  | P21        |

## 水質保全活動

- |                       |            |     |            |
|-----------------------|------------|-----|------------|
| ◆ <b>地域の水をきれいにしたい</b> |            |     | <b>P22</b> |
| 湧く水の清き裾原を次世代に         | 川原沢ふるさと保全会 | 長井市 | P22        |
| 地域住民が一体となった環境保全活動     | 大川渡環境資源保全会 | 鶴岡市 | P23        |

## 景観形成・生活環境保全活動

- |                               |               |      |            |
|-------------------------------|---------------|------|------------|
| ◆ <b>花を植えたい</b>               |               |      | <b>P24</b> |
| 花水路のある町                       | 見崎農地・水の会      | 山形市  | P24        |
| 成安のみんなの花壇です                   | 成安いきいき燦々水土里の会 | 山形市  | P25        |
| 小学生から長寿会まで花の植栽活動              | 安田地域環境保全会     | 酒田市  | P26        |
| 「あがらしやれ」発祥の地 田園と歴史街道で景観活動     | 小国みどり会        | 真室川町 | P27        |
| 未来につなぐ美しい景観と豊かな自然             | 下町地区農地・水環境保全会 | 飯豊町  | P28        |
| みんなで守ろう 水と緑と豊かな大地             | 新川上美男塚資源保全会   | 米沢市  | P29        |
| 地域の活性化を目指した景観形成活動             | 白須賀地区環境保全会    | 大蔵村  | P30        |
| 遊休農地を利用した景観形成と住民交流をめざした地域環境整備 | 大橋地域保全会       | 南陽市  | P31        |
| ◆ <b>花(ヒマワリ)を植えたい</b>         |               |      | <b>P32</b> |
| 「ひまわり感謝祭」は地域住民の理解、協力と和        | 谷地南部地区活動組織    | 河北町  | P32        |
| ◆ <b>花(サクラ)を植えたい</b>          |               |      | <b>P33</b> |
| 美しい農村風景の保全に向けて                | 朴山農地水地域保全会    | 金山町  | P33        |
| ◆ <b>グランドカバープランツに取り組みたい</b>   |               |      | <b>P34</b> |
| 道路法面を利用した雑草対策で花いっぱい咲かせたい      | 横川新田地区環境保全会   | 三川町  | P34        |

- ◆ 田んぼアートに取り組みたい**

田んぼアート

溝延かわらなでしこ活動組織

河北町

P35
- ◆ 休耕田を活用したい**

休耕田を活用したアヤメの植栽

松根クリーンネットワーク

鶴岡市

P36
- ◆ ため池を活用した活動に取り組みたい**

農業用ため池を活用した景観形成活動

山荒川地域資源保全隊

鶴岡市

P37
- ◆ ソバを活用して交流活動に取り組みたい**

地域住民等との交流活動・学校教育との連携  
荒れ畑が白いソバの花に変身しソバ打ち教室も開く

横山地域農地・水・環境保全境会  
俎柳農地・水・環境保全の会

大石田町  
南陽市

P38  
P39
- ◆ ホームページでPRしたい**

ホームページや看板を利用した啓発・広報活動

沢新田地域を守る会

庄内町

P40

## 水田貯留機能増進・地下水かん養活動

- ◆ 地下水かん養のための活動に取り組みたい**

水田貯留機能向上のための排水調整板の設置と法面補修

ふじしまエコフィールド協議会・三和

鶴岡市

P41
- ◆ 水源かん養林を保全したい**

水源涵養林の保全と間伐材の有効活用

山五十川地区農地水環境保全会

鶴岡市

P42

## 資源循環活動

- ◆ 資源を活用してエコ農業に取り組みたい**

資源循環活動で水質保全を図りエコ農業

共生の郷吉島資源保全隊

川西町

P43
- ◆ 間伐材を利用した景観づくりに取り組みたい**

地域参加による間伐材の再利用と景観復活！

蕨岡地区農村環境保全会

遊佐町

P44



## ～ 広げよう環境活動を！ ～

対馬地区環境保全協議会 （三川町対馬 地内）

協定面積：79.6ha

### 1. 簡単な経緯

- ・対馬地区では20年ほど前から環境に負荷をかけない活動が消費者（都市圏の販売先の方々等）と連携して行われてきたので、さらにこの事業を活用して環境活動を広げていきたい。

### 2. 具体的な内容

- ・対馬地区エリア内の生き物調査を育成会を代表する構成組織や都市圏の消費者等による協力で実施する。
- ・冬みず田んぼ、夏みず田んぼでの生き物調査を通して、生態系保全の必要性を研修し、営農・共同活動を地域の活性化に繋げる。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・冬みず田んぼ（冬季湛水）は雨水・雪解け水を湛水しておく事で生息状況を調査した。
- ・夏みず田んぼ（夏季湛水）は転作田の連作障害回避と大発生する生き物の生息状況を消費者の研修と日程調整を行い実施した。

① 冬みず田んぼの圃場での生き物調査



② 冬みず田んぼの圃場での生き物調査



③ 夏みず田んぼの生き物調査  
（消費者との連携）



④ 水路での調査



## ～ 農業用水路を活用した生活環境保全活動 ～

郡鏡地域保全会 （酒田市郡鏡 地内）

協定面積：366.9ha

### 1. 簡単な経緯

- ・当地区には、地区内を流れる農業用の用水路があり、以前から水に親しむ活動として子供たちの「魚つかみ」が開催されてきた。

### 2. 具体的な内容

- ・当地区の水路を流れる水が、どこから来ているのかを実際に最上川の取水口から見て、長い道のりを経て田畑に利用されている大切な水であることを確認する。
- ・生き物調査することにより、環境の状況を把握することができる。
- ・水中生物の調査を行い、環境状況を把握する。
- ・子供を対象に、魚とり等の事業を行う事で水に親しむ機会と水の大切さを感じ取る。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・地元土地改良区職員の皆さん、各自治会役員の皆さん、子ども会等の協力で実施し、より子供たちに詳しく丁寧に指導ができた。

① 水中生物調査



② 水中生物調査



③ 魚のつかみ取り事業



④ 魚のつかみ取り事業





## ～ 農業用水を利用した水質調査と地域に生息する生き物調査 ～

共栄地区水土里保全会 （真室川町共栄 地区）

協定面積：50.3ha

### 1. 簡単な経緯

- ・地域内に流れる農業用水の水質調査や、湧き水のある農地周辺にて地域住民と子供会で生態系の調査を実施し農家の人々も含め地域をより深く知ってもらうため。

### 2. 具体的な内容

- ・榎沢ダムより取水している農業用水を地域内で上流部・中間部・下流部に観測地点を設け、水質モニタリングを目視・パックテストを用いて毎年実施した。また地域に生息する生態系を知ってもらうため、湧き水のある農地周辺で子供会・父兄といっしょに夏休みを利用して生き物調査を実施した。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・今まで地域に生息する生き物調査や水質調査など実施したことはなく、これを契機に地域の子供会を通じて農家以外の住民にも地域実態を理解してもらえることが出来た。

①子供会と地域住民による生き物調査



②子供会と地域住民による生き物調査



③農業用水から採取し水質調査



④前年度と比較したパックテストの結果



## ～ 地域が連携して生き物調査 ～

蚕桑地域保全協議会 （白鷹町蚕桑 地内）

協定面積：144.6ha

### 1. 簡単な経緯

- ・環境向上活動を実施するに当たり、初年度は協議会が主体となって参加を呼びかけていたが、子ども達を対象とした活動は協議会だけでは限界があり、次年度からは組織構成員である蚕桑地区公民館に協力願い、公民館との共催事業としている。

### 2. 具体的な内容

- ・1、2年目は農業用水路、3年目は1級河川での生物観察を行った。
- ・子ども達と一緒に手でつかまえたり網等を使用しながら生物を観察した。地元の方に捕獲した生物の名前や今と昔の違い、周辺の環境等も含めて話を聞く等学習した。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・公民館の協力により参加者を募ることができている。
- ・地域の町内会長、保全協議会役員の方々の協力で実施している。
- ・生き物の観察に留まっているため、次に繋げる活動を展開することが重点事項と思われる。

#### ① 水路



#### ②水路に生息（どじょう、オイカワ等）



#### ③ 河川



#### ④河川に生息（沢かに、ナマズ等）



## ～ 蛍の棲める環境を守れ!! ～

漆野地区美土里会 （金山町漆野 地内）

協定面積：26.3ha

### 1. 簡単な経緯

- ・地域を流れる、農業用水路周辺では昔から多くの蛍が飛び交っている。そして、現在でも変わらず、夏になると多くの蛍が現れ、地域のシンボルでもあり、人々の心を癒してくれる場所である。
- ・農地・水・環境保全向上対策を機に、たくさんの蛍を後世まで守っていこうという取り組みが始まった。

### 2. 具体的な内容

- ・地域の人たち（子供、保護者外）を対象にして、蛍について詳しい先生を招いての勉強会を毎年実施している。併せて先生を囲んでの交流会や、夜には蛍の観察会を実施している。
- ・漆野地域の蛍をより多くの人たちに知ってもらうとともに、地域の人々が蛍にもっと関心をもってもらえるように蛍が彫られた標柱を立てた。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・小学生やその保護者を中心に地域全体で蛍を守っていくための学習を継続して行っている。
- ・学習会の後に交流会や観察会を行うなど、参加しやすい楽しい企画にしている。
- ・本対策が契機になり、地域がまとまって実施できるようになった。
- ・現在は勉強会等を中心に行っているが、今後は環境整備にも力を入れていきたい。

#### ①講師を招いて蛍の勉強会



③子供達作成ほたるを見る会のポスター



#### ②「ほたるの里」の手作り標柱を設置



④ほたるを見る会



## ～ 「ホタルの里整備」で水もきれいに！ ～

細の原地区農地・水・環境保全会 （最上町細の原 地内）

協定面積：39.0 ha

### 1. 簡単な経緯

- ・これまでもホタル生息が確認されていたが、本事業をきっかけに集落全体で「ホタルの里」整備に取り組んだ結果、ホタル鑑賞会などで地区の一大名所になっている。

### 2. 具体的な内容

- ・子供たちも農地水活動に参加することによって、ホタルや水生生物が生息していることを知り、地域の持つ環境資源の大切さを学ぶ場所になっている。
- ・現地の水路掃除やごみ拾いなどを定期的に行い、ホタルの生育環境の保全に努めている。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・「ホタルの里」の看板設置や子供たちも含めた「水質、生育調査」や「ホタル勉強会」などを開催し、ホタル保護のための啓蒙活動を行っている。
- ・「ホタルの里」は集落内を流れる農業用水の下流位置にあるため、家庭排水などにも気を配るようになってきており水質もきれいになった。
- ・周辺の農地所有者から防虫消毒の際は特に気を配ってもらっている。

#### ① カワニナの生息状況を確認



#### ② 水生生物の観察の実施



#### ③ 「ホタルの里」看板の設置



#### ④ 活動の内容を町内にPR



## ～ ゲンジボタルの里を子孫につなぐ ～

上鶴杉地区資源保全協議会 （最上町上鶴杉 地内）

協定面積：66.8 ha

### 1. 簡単な経緯

- ・本地域は、ゲンジボタルやハイケボタルなどが生息しており、7月上旬からお盆の頃までホタルの飛び姿が見られる。

### 2. 具体的な内容

- ・水路の草刈やゴミ拾い、看板の設置を行って、ホタルの生育環境を向上させる活動を行っている。
- ・子供たちによる水質調査やカワニナの生育調査を行ってきており、地域の資源の大切さを小さな頃から学んでいる。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・「ゲンジボタルの里」の看板設置やパンフレットを作成したり、ホタル鑑賞会などを実施し、ホタル保存のための啓蒙活動を行ってきている。
- ・町内外からホタル鑑賞に訪れる人が増加してきており、町内の旅館もホタルが飛び期間にお客を連れてきており、観光面でも重要になってきている。

① ホタル生息地の保護活動



② 子供達が長年続けている生息調査



③ ホタル鑑賞会の実施



④ 保全会で作成したパンフレット



## ～ ホタルの里づくりを目指した保全活動 ～

上叶水地域保全会みどりの会 （小国町叶水 地内）

協定面積：13.8ha

### 1. 簡単な経緯

- ・近年、農薬の使用や水路の改修等によって、ホタル等の希少な生き物が極端に減少している傾向にある。こうした中、水のきれいな場所にしか生息できないホタルへの関心を高めていこうと地域全体で見直しを始めた。

### 2. 具体的な内容

- ・平成19年度に叶水全戸を対象としたアンケート調査を実施し、ホタルの存在価値について再認識することになった。また、ホタルに関心を持ってもらうために啓発看板の設置（2箇所）や、夏にホタルの観察会を実施している。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・ホタルがどんな場所に多く生息しているのかを確認するため、住民の協力を得て調査を実施した。
- ・講習会を開催し、有識者からホタルの生態についてのアドバイスを受けた。
- ・地域の子供達と一緒に、餌になるカワニナ（貝）を探したり、その付近で飛び回るホタルを観察しながら、ホタルと身近に触れ合う機会を設けた。

#### ① 啓発看板の設置



#### ② ホタル観察会のご案内



#### ③ たくさんのホタルを確認



#### ④ 看板の前にみんな集合。



## ～ ホタルが乱舞する里づくり ～

行沢地域活動組織 （尾花沢市行沢 地内）

協定面積：37.7ha

### 1. 簡単な経緯

- ・農業に係る地区内の生態系の実態を小さいうちから興味をもってもらい、また、地域の農村環境の大切さと、それに親しむ心を育てたいということ、さらには将来の担い手の育成になればという観点からスタートした。

### 2. 具体的な内容

- ・ホタルの里で尾花沢市でも先進地である牛房野の星川茂平治氏を講師に招きホタルの生育などについて、小学生を対象に学習会を実施し、ホタルが生育するためにはきれいな水の必要性や農村環境の大切さを学んだ。その後、現場に出向き、カワニナなどの生物の実態調査を行い、夜にはホタルの鑑賞会も実施した。また、生活環境の向上ため子供達と子供育成会の方々に空き缶などのゴミひろいを行った。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・役員はもとより、活動組織の構成員であります行沢地区子供育成会の協力を得て実施した。今年は事業計画に基づき、より一層きれいな水を目指すため、水路に木炭を導入し、ホタルがいっぱい乱舞する里にしていきたい。

（講師 星川茂平治氏）

① ホタルの成育などに関する勉強会



② カワニナ調査(子供達と育成会の皆さん)



③ 親子で空き缶などのゴミ拾い



④ ホタルがいっぱいのPR看板



## ～ 生態系保存にかける地域住民活動～

川前地区農地・水・環境保全会 （大石田町川前 地内）

協定面積：29.7ha

### 1. 簡単な経緯

- ・川前地区は「春の女神」という愛称がつけられているギフチョウ・ヒメギフチョウが混棲する極めて稀な地域である。町では昭和 63 年に保護条例を設置して町民の貴重な文化財として継承し、保護している。

### 2. 具体的な内容

- ・ギフチョウ・ヒメギフチョウが混棲する極めて稀な川前地区は、その北限に近く学術的にも貴重な地域である。その地域を守るため、保護条例を基本に採取行為の監視や看板等による啓蒙活動及び両チョウが好む食草の維持、管理に努めている。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・条例違反には罰金刑が科せられるが、心もとない人が卵の採取などの痕跡がみうけられるため、警察や地区で保護の会を作って監視や、食草の維持管理にあたっている。

#### ①乱獲防止用の看板設置活動



#### ②食草の維持のための草刈作業



#### ③両チョウが好む食草の確認





## ～ イバラトミヨ保護施設の適正管理 ～

板井川地区資源環境保全隊 （鶴岡市板井川 地内）

協定面積：95.2ha

### 1. 簡単な経緯

- ・閉鎖された鮭の孵化場にイバラトミヨの生息が確認されたため、イバラトミヨ保護施設として地元の有志によって管理されてきたが、地域全体としての盛り上がりには欠けていた。

### 2. 具体的な内容

- ・本対策を契機として、平成 19 年度から子ども会・育成会及び保全隊役員による施設清掃を実施した。
- ・また、平成 20 年度に『板井川イバラトミヨを守る会』を新たに立ち上げ、保全隊、その他団体と共に施設周辺の草刈、池の清掃、看板設置等を実施している。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・最初は有償で行っていたが、『地域の財産を守ろう！』という意識が高まり、板井川イバラトミヨを守る会や子ども会・育成会ではボランティア活動として清掃管理を行なうようになった。
- ・農繁期が一段落する 6 月から月 1 回の頻度で管理すると共に、7 月には夏休みに合わせて子供たちを交えた活動を実施している。

①実施前



②子ども会育成会管理



③板井川イバラトミヨを守る会管理



④実施後



## ～ 農業用水を利用した放流による交流活動 ～

工藤沢地域保全 （庄内町工藤沢 地内）

協定面積：32.6ha

### 1. 簡単な経緯

- ・地元住民で協力して水門や地域内水路の生物の生息状況を調べ、その上流の沢に稚魚を放流することで、生態系保全と世代を超えた地域住民との交流を行う。

### 2. 具体的な内容

- ・農業用水取り入れ口となる長沢水門や地域内水路にて、生物の生息状況を把握。
- ・後日、沢の上流においてイワナの稚魚・沢カニを放流した。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・地元の沢や水路や生き物に直接触れることで、子供から大人まで地域に愛着が湧き、保全活動への関心と意欲につながると感じた。
- ・自治会や子供会より、多くの協力を得て広く活動できた。

①水路での生物生息状況調査



②イワナ稚魚の放流



③沢カニの放流



④活動看板を設置



## ～ ビオトープの設置と環境意識の啓発 ～

ふじしまエコフィールド協議会 （鶴岡市須走 地内）

協定面積： 716.9 ha

### 1. 簡単な経緯

- ・ほ場整備により、三面コンクリート水路による用排完全分離がなされ、更には農薬や除草剤等の普及により、魚類等の生息環境の悪化が進み、豊かな生態系のバランスが崩れていた。
- ・農業や地域環境への関心を引き出すためには、水辺空間での遊びの経験が重要であるが、年々高まる安全対策とのギャップに苦慮していた。

### 2. 具体的な内容

- ・住宅地近郊の農地を借り上げ、地域住民の手づくりによるビオトープを設置した。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・地域への周知と管理・安全面への地域合意を得るために、防草シートや安全柵の設置を子供からお年寄りまで地域総出で実施した。
- ・活用を図るため、定期的に地域の大人が講師となって子供達との学習会を実施している。

① ビオトープ全景



② 作業状況（防草シート）



③ 作業状況（安全柵）



④ 学習会



## ～ 環境保全活動でさらに活気のある地域づくり ～

神田集落資源保全隊 （戸沢村神田 地内）

協定面積：162.4ha

### 1. 簡単な経緯

- ・農地・水の事業をきっかけに環境保全活動を通じ、地域の活性化を図ろうと考えていた。地区内の拠点となる小学校周辺の農業水路への植栽や岩せきため池の安全柵の整備や桜の植樹などを実施し、美しい景観の田園の里づくりを目指している。

### 2. 具体的な内容

- ・生き物調査のため、ため池の池さらいや里山散策など、積極的に小学生の環境学習を実施。休耕田を活用したビオトープの造成・管理。
- ・急傾斜の法面への防草マットの敷設やカバープランツの取り組み。通学路沿いの遊休農地への花の植栽や啓発看板の設置。
- ・お年寄りの方々による植栽後の草むしり等の管理作業。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・農家のみつながりにとられずに、できるだけ子どもを巻き込んだ事業の取り組み。特に地域自然塾「妙見塾」と小学校との連携をとりながら事業を推進。そのことにより、地域に住む各年代の多くの住民がこの事業に関わるようになった。子どもからお年寄りまで多くの住民が参加する秋のワークショップ開催時に、「来年はもっとこういうことをやろう」という意見が出されるようになった。

① 急傾斜法面への防草シートの敷設



② ため池の池さらい（生き物調査）



③ 田んぼの周りの生き物調査



④ 植栽箇所の老人クラブによる除草



## ～ 水田を利用したビオトープ・花の植栽 ～

太折地域保全会 （舟形町富田字太折 地内）

協定面積：60.0ha

### 1. 簡単な経緯

- ・以前からホタルの生息はあったので、ビオトープを利用してホタルの飛び交う場を検討した。

### 2. 具体的な内容

- ・田んぼに入る前の沢水を利用して、ビオトープを作り、カワニナの棲める環境づくりからはじめ、今ではシーズンになると無数のホタルが飛び交うようになった。また、当保全会は花の植栽にも力を入れており、地域全体が関わっている。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・集落に近い水田の確保やカワニナの生息環境づくり、水性生物の把握など子供会や婦人会の協力を得ながら、夜にホタルの生息状況を観察している。また、花は町内の中心部にシーズンを通して咲く花を植栽することにより、地域全員が楽しめるようにしている。

①



②



③



④



## ～ 農業用ため池における生態系保全活動 ～

米地区保全会 （鮭川村米 地内）

協定面積：24.3ha

### 1. 簡単な経緯

- ・地区内の湿原には貴重な山野草や昆虫が生息しており、地域内でもその生態系を保存していこうという意識が高まっていた。

### 2. 具体的な内容

- ・ため池内に生息する生物を調査する生態系調査を継続して実施することで、環境の変化について確認をおこなってきた。また、ため池管理用木道の設置することにより、生物の生活史を考慮したため池管理を行ってきた。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・生態系調査については、地元子供会と連携して実施することにより、次世代へと環境保全に対する意識の醸成が図られている。また、木道の設置については、専門家の指導を受けながら地区外住民の協力も得て実施された。

①生態系調査



② 生態系調査



③ 木道設置前



④ 木道設置後



## ～ 白鳥の湖 野々村ため池の生態系保全活動 ～

野々村地区水土里保全会 （真室川町野々村 地内）

協定面積：35.7ha

### 1. 簡単な経緯

・本地区は、複数のため池に農業用水を依存している地域であり、鳥海山を望む景観には「次代につなぐやまがた景観賞（山形経済同友会主催）」を受賞するなど、地域資源としても多くの地区内外の方々より評価されているエリア。

・そのような中、心無い一部愛好家による外来魚（ブラックバス）の放魚などにより、ため池内のフナやメダカ、蛙などの姿が見えなくなるなど、また下流水路からもその姿が消えつつあった。本保全会では、水辺の生き物調査の実施と併せ外来魚駆除等の活動を実施し、ため池を中心とする地域内の豊かな生態系を保全することとした。

### 2. 具体的な内容

・農地・水・環境保全向上対策の実施を契機に、これまで農家中心に、数年に一度実施してきた「ため池の泥浚渫作業」と並行し、地域共同活動として「外来種駆除作業」を実施。

・ため池上下流水路の「生き物調査」を実施し、外来種の生息状況の変化も調査実施。

### 3. 工夫した点や協力体制等

・ため池のみに留まらず、ため池上下流の生き物調査を実施し、外来種の拡大状況を一緒に調査している。

・集落行事の収穫祭（いも煮会）と一緒に実施するなど、より多くの方々が参加（作業参加、見学のみなど）し易い内容とした。

① 実施前（上流水路生き物調査）



② 実施前（下流水路生き物調査）



③ 実施状況（外来種捕獲作業）



④ 実施後（捕獲した外来種）



## ～ 諏訪神社沼を核にした地域づくり ～

野黒沢環境改善団体 （尾花沢市大字野黒沢 地内）

協定面積：58.0ha

### 1. 簡単な経緯

- ・地域内には 3 つのため池と縦横に走る水路があり、これまで常民とは深い関係で結ばれてきた。しかし、最近では実用面だけで親水の観点が薄れており、せっかくある宝物を地域住民が親しめる環境に取り戻そう取り組んできた。

### 2. 具体的な内容

- ・諏訪神社沼の水門が改修されたことから、子供会が博物館の協力を得て生き物調査を実施したが、生き物は見えなかった。この時周辺の樹木や植物の名前を調査、絶滅危惧種の「丁字草」を観ることができた。諏訪神社には樹齢の高い杉があつて管理が必要なことからチェーンソーの点検と倒木講習会を実施、子供会の協力を得て芸術の森づくりの提唱を行うことができた。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・子供会（保護者も）や老人クラブ・有志の協力を得て実施している。ブラックバスの捕獲作戦なども実施して生き物との共生についても学習している。諏訪神社沼を核にした森や沼とのつき合い方をみんなで考えていきたいと思っている。

① 捕獲器の製作



② 捕獲作業



③ ブラックバス捕獲作戦



④ 森林管理と木材加工





## ～ 休耕田を活用したクレソン植栽活動 ～

中沢地域保全会 （戸沢村中沢 地内）

協定面積：23.4ha

### 1. 簡単な経緯

- ・取水している農業用水が水質も良く、上流に農地もなくクレソンの栽培に適していることから転作作物としての普及を図るため実証圃として試験栽培を行っている。
- ・地域に体験交流として地区外より子供たちが来るようになったので生物調査の実施が行える。

### 2. 具体的な内容

- ・休耕田は湿地のため転作作物の選定に苦慮していたが、事業実施に際し、養魚場に植栽していたクレソンを転作田に普及しては、の意見で実証圃を検討、地主と協議し了解を得実施となった。

農業用水路を活用したホタル水路にホタルの餌となるカワニナがクレソンを好むとの情報も取り組みのきっかけとなった。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・クレソンの栽培については、誰も経験した者がいないためネット情報や九州で栽培していたものの研修を基に施行錯誤しながら栽培を行ってみた。
- ・地域内老人クラブの方々がきめ細やかな除草や、畦畔の除草を積極的に協力をいただいた。
- ・また、学校教育との連携で小学校の理科の授業で生息生物の調査の実施と地域活動が一体となって実施できた。

① 実施前 クレソン植栽前代掻き



② 実施状況老人クラブによるクレソン植栽



③ 実施状況角川小学校との連携活動



④ 実施後体験交流生との共同活動



## ～ 在来魚を呼び戻せ 外来魚駆除作戦 ～

水土里育む杉島 (村山市大字河島 地内)

協定面積：67.5ha

### 1. 簡単な経緯

- ・集落内の農業用ため池である西溜池は、地域住民の憩いの場として親しまれてきました。しかし近年、ため池にブラックバスが多く生息するようになり、かつて見られたタナゴやエビなどがいなくなり、コイやフナなどの在来魚も少なくなってきていたため何とか在来魚を呼び戻せないか検討された。

### 2. 具体的な内容

- ・平成19年より当事業で西溜池のブラックバスの生息調査やブラックバス駆除の勉強会を実施してきた。平成21年にため池の水抜き点検の際、ゲートに破損が見つかり、平成22年9月中旬からゲートの改修工事をする事となった。その時期に合わせてため池の水抜きをし、外来魚のブラックバス駆除を実施した。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・ブラックバス駆除は、地元住民らでつくる「水土里育む杉島」が中心となって、「ブラックバス駆除隊」を組織し、関係機関や地元の小学校ら約100名が網などを使って捕獲した。40匹のブラックバス捕獲に成功しました。

① 実施前



② 実施状況



③ 実施状況



④ 実施後



## ～ 特定外来生物（ブラックバス）の駆除 ～

馬町米出地域保全会 （鶴岡市馬町・米出 地内）

協定面積：312.5ha

### 1. 簡単な経緯

- ・本地区にある3つのため池では、特定外来生物に指定されているブラックバスが生息し、ため池内や下流域の生態系への影響が懸念されていた。

### 2. 具体的な内容

- ・約3週間かけてため池の水を抜き、岸やボート上から網を使用して捕獲した。また、水を抜く際には水路等の投網を設置し、ブラックバスの流出を防止した。
- ・捕獲できなかったブラックバスを駆除するため、ため池の水を年明けまでためないこととし、ブラックバスの放流禁止を呼びかける看板を設置した。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・数年前から市水産担当や漁協との連携で実施しており、連携事業による経験を活かして、平成21年度には保全会事業として実施した。
- ・ため池の管理者だけでなく、地域の子供たちにも参加を呼びかけ、地域交流活動として実施した。

① 実施状況



② 実施状況



③ 実施状況



④ 実施状況



## ～ 湧く水の清き裾原を次世代に ～

川原沢ふるさと保全隊 （長井市川原沢 地内）

協定面積：134.6ha

### 1. 簡単な経緯

- ・統合前の西根中学校校歌の一節に「百千草花咲きにおふ、湧く水の清き裾原」と歌われているほど西山の扇状地に展開する当地域は豊かで美しい水に恵まれている。この情景を次世代に残したい、また、水質状況を的確把握したいとの思いから、地域一体となって取り組むこととした。

### 2. 具体的な内容

- ・各家庭総参加による、ため池、生活関連用水路の美化活動を行っている。
- ・小・中学生を対象に、豊かで美しい川原沢の水を切り開いた先人の苦労について、紙芝居を利用した説明や最近の治水・利水技術について、ため池、野川幹線用水路、北の沢川の現地学習会を「川原沢の水今昔物語」と題して開催した。
- ・地域女性を対象に、「水質保全是家庭の台所より」とのテーマのもと、天ぷら廃油の処理や洗剤利用の減量方法についての講習会を開催した。
- ・過去3年間農業用水路等について専門機関委託による水質調査を行っており、「農業用水基準を満たしている」、「アユ、ヤマメも生息できる」との報告を得ている。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・川原沢区、3地区の子供育成会、婦人の会等と連携を築きながら事業を実施した。
- ・水質試験の結果、稲作には適した水であることを地域住民には広報誌で周知を図っているが、今後一般消費者へのPR活動の是非についての検討を要する。

#### ① 世帯総参加による美化活動



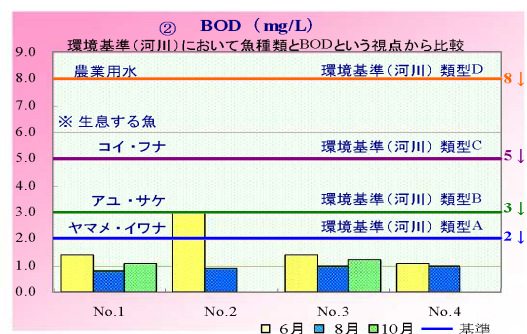
#### ② 小・中学生対象の現地学習会



#### ③ 女性対象の水質保全講習会



#### ④ 水質試験データ（全戸配布）



農業用水基準を満たしアユ・ヤマメも生息可能

## ～ 地域住民が一体となった環境保全活動 ～

大川渡環境資源保全会 （鶴岡市大川渡 地内）

協定面積：77.6ha

### 1. 簡単な経緯

- ・本対策の実施をきっかけとして、集落内で環境についての関心が高まり、地域一体となった環境保全活動を実施している。

### 2. 具体的な内容

- ・平成19年度より、集落独自に環境保全の日を設け、全戸が参加した水路の泥上げ・地域内の清掃活動・水質調査等の環境保全活動を実施するとともに、ポスター等で環境保全の啓発活動を行っている。
- ・また、学校教育との連携として農業体験活動を行うなど、地域の活性化が図られている。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・地域の方から幅広く協力を得るため、保全会組織に部会制を取り入れており、基礎実践・農地水向上実践・農村環境向上実践部会を設け、それぞれの部会が先頭に立って役割を果たしている。

#### ① 環境保全の日の清掃活動



#### ② 子供会による地域の水質調査



#### ③ ポスターによる啓発活動



#### ④ 学校教育と連携した農業体験



はな すいろ まち  
～ 花水路のある町 ～

見崎農地・水の会 (山形市見崎 地内)

協定面積：49.7ha

1. 簡単な経緯

- ・市道に沿って幹線用水路が流れています。市道なので一般の通行者も多く人目にも付きやすいので、用水路敷地にプランターを並べれば、(農地・水)の宣伝や地区の美化に役立つのではないかと始めました。

2. 具体的な内容

- ・延長約 600m にわたってプランター140 個にペコニア植栽して水路上に設置しました。夏場は当番制をとり、水かけ、除草作業を行い、ペコニアが枯れる 11 月に撤去します。

3. 工夫した点や協力体制等

- ・チラシを作成し町内全戸に配布して参加希望者を募っています。毎年、子供から大人まで 40 名位集まります。実施日を子供会や町内の行事と重ならないよう調整して決めています。当初、プランターが持ち去られないか心配でしたが杞憂に終わりました。

①実施状況



② 実施状況



③ 実施状況



④ 実施後



## ～ 成安のみんなの花壇です ～

成安いきいき燦々水土里の会 （山形市成安 地内）

協定面積：83.5ha

### 1. 簡単な経緯

揚水機場の周りど、隣接した遊休農地の整備として始めました。通学路でもあり学童が毎日通るので、花の成長過程が観察できる最適の場所であるとの考えから花壇を作ることにしました。

### 2. 具体的な内容

遊休農地約 500 m<sup>2</sup>の三角田を耕作整備して、新たに耕作土も投入してペコニア、サルビア、マリーゴールド、コスモス等色々な花をみんなで植え付け、水かけ、除草を行い大事に育てています。

### 3. 工夫した点や協力体制等

花壇のデザインを毎年変えています。今年度より子供たちのデザインです。子供会から老人会まで構成組織全員で取り組んでいて町内の 1 つのイベントになってしまいました。又、小学生に花壇について作文や絵などを募集したところ、数十点もの作品が集まり公民館で発表会を行うまでになった。

① 実施前



② 実施状況



③ 実施状況



④ 実施後



## ～ 小学生から長寿会まで花の植栽活動 ～

安田地域環境保全会 （酒田市安田 地内）

協定面積：148.5ha

### 1. 簡単な経緯

- ・子供たちも多く利用する道路で、農村公園や諏訪神社にも近いことからプランターではなく、直接の植栽により憩いの空間をつくり高齢者と子供たちとの協働と交流を農地・水・環境保全で取り組むこととした。

### 2. 具体的な内容

- ・土づくり、土留め、施肥等の前作業は保全会役員が主体的に取り組んでいる。
- ・子供会、婦人会は、長寿会の指導で花苗を丁寧に植栽した。また、各会で当番を決めて水やり、雑草とり、害虫対策を行い、長寿会での指導で実施している。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・植栽延長135mを長寿会・婦人会・子供会に三等分して各会に責任を持たせ、表示札を付けて農地水の活動をPRしている。また、各会相互に協力し合って花を育てている。
- ・苗は、当初、地区の花の愛好家からなる愛花会より安く提供してもらっていたが、高齢のためとの理由から提供いただけなかった。このため、保全会役員宅のハウス内の一角で苗づくりを行い植栽することができた。
- ・今後も地域内での苗の確保、相互協力と活発な交流を推進していきたい。

① 実施前



② 実施状況



③ 実施状況



④ 実施後





## ～「あがらしゃれ」発祥の地 田園と歴史街道で景観活動～

小国みどり会 （真室川町大沢 地内）

協定面積：31.0ha

### 1. 簡単な経緯

- ・当地域は民話の里として知られると共に、弁慶伝説や「あがらしゃれ」の発祥地としてマスコミに取り上げられた地区であります。そのため現在も訪れる人が多く、水田に囲まれた沿道に看板や植栽をおこない、地域みんなでお迎えしたいと考えております。

### 2. 具体的な内容

- ・看板は地域みんなで検討し、設置作業も協力して行いました。パネルは四季ごとに内容を変えて、興味ある伝言板としての役目もあります。植栽は2 kmにおよぶ沿道に、3箇所行いました。
- ・時をずらして、高齢者グループが残地に植栽するなど、地域みんなが関心を持ち、暇な時間を見つけては手入れをしてくれます。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・地域には様々な職業の方がおります。専門的なことは得意な人に任せ各自出来る範囲で、協力して作業を行いました。

① 看板設置



② 植栽と憩いベンチ



③ 地域全員で植栽



④ 高齢者グループも植栽



## ～ 未来につなぐ美しい景観と豊かな自然 ～

下町地区農地・水・環境保全会 （飯豊町大字添川 地内）

協定面積：53.5ha

### 1. 簡単な経緯

- ・開水路の法面の土砂が、開水路に崩落するため、地区住民が板により土留め工事を実施し、併せて花の植栽に取り組んできたが、土留めの損傷がひどくなったことから、将来にわたって農村環境の向上を図るため、柵溝板による花植栽箇所の環境改善を計画した。
- ・今までは、下町振興会（50～60代の男性）が、花の植栽に取り組んできたが、地区内の環境美化に関する理解と関心を深めるために、各構成組織の方々との連携した共同活動として花の植栽事業を計画した。

### 2. 具体的な内容

- ・開水路の沿線に花を植栽して、花による環境整備を図る。
- ・花の植栽に多くの構成組織の方々の参加を得ながら、子どもたちと各世代との世代間交流による地区内の融和と活性化を図る。
- ・草むしりなども、子供からお年寄りまで多くの参加により実施する。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・柵溝板は、町や土地改良区のものを払下げすることで再利用し施工した。
- ・地区ぐるみで花の植栽を実施することにより、地区住民の環境に対する意識の高揚と地区内の環境保全と景観形成が図られた。

① 実施前



② 実施状況



③ 実施後



④ 実施後



## ～ みんなで守ろう 水と緑と豊かな大地 ～

新川上美男塚資源保全会 （米沢市塩井町塩野 地内）

協定面積：85.2ha

### 1. 簡単な経緯

- ・植栽を行った場所について、以前から有効利用できないかと地域内で話題になっており、農地・水・環境保全向上対策が始まったのを機に、地域住民で植栽を始めた。

### 2. 具体的な内容

- ・植栽箇所をトラクターで耕す、マルチを敷く等の事前準備をした。
- ・組織構成員（特に児童）に広く呼びかけ、農家非農家問わず参加してもらった。
- ・植栽後の草むしり等の維持管理は、育成部をお願いした。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・植栽用の花は、組織構成員で花を栽培している方から、格安で提供してもらった。
- ・植栽作業の前に、集まった組織構成員に対し農地・水・環境向上活動の趣旨や環境保全活動の大切さについて説明し、個人での地域内の農業環境保全に協力してもらった。

① 実施前



② 実施状況



③ 実施状況



④ 実施後



## ～ 地域の活性化を目指した景観形成活動 ～

白須賀地区環境保全会 （大蔵村白須賀 地内）

協定面積：106.1ha

### 1. 簡単な経緯

- ・当地区は村内の中では平野部に位置し、水稻主体の農村地域である。
- ・近年、高齢化・混住化が進み、地域住民の交流も希薄化しつつあるため、多様な農村環境向上活動により地域の活性化を図る。

### 2. 具体的な内容

- ・美しい農村景観を守る担い手を育成するため、小学校などと連携した農業体験や環境保全活動を通して、地域の子供たちに農業や環境の大切さと、それに親しむ心を育てていく。
- ・地域の子供たちと共同で活動を実施することにより、大人と子供の交流を深めるとともに、子供たちが地域の自然の豊かさを再認識する場をつくることができた。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・生態系保全活動を通して、子供たちに地域のことを知ってもらう機会を増やし、子供たちが一生涯暮らしたいと思う集落づくりを目指して活動を実施する。
- ・農業体験では地域の食文化もあわせて伝えていきたいと考えている。

① 農作業体験（田植え）



② 環境保全啓発看板の設置



③ 農作業体験（稲刈り・杭掛け）



④ 田んぼなどの生き物調査



## ～ 遊休農地を利用した景観形成と住民交流をめざした地域環境整備 ～

大橋地域保全会 （南陽市大橋 地内）

協定面積：60.2ha

### 1. 簡単な経緯

- ・協定面積の中にある遊休農地を利用して菜の花やひまわり等を植栽し、景観の整備を行うと共に、四季の花を植えたプランター等を設置し、地域住民との交流も含めた生活環境整備の充実を図る。

### 2. 具体的な内容

- ・各組織役員合同会議による年間事業計画の協議を行い、共同作業の項目を選定すると共に各分担を決定した。子供育成会はひまわりの種まき、プランター花植（100箱分）を保全会と一緒にいき、老人会では集落排水処理場道路の路肩及び空き地の植栽を行った。
- ・更に、地域住民との交流活動を活発にすべく、婦人部等を対象とした農産加工やエコ石けんづくり等の計画を推進する。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・集落の道路は舗装と側溝が整備されており、路肩を利用した植栽等はできないので、プランターを利用して美化を推進した。
- ・会議の中で組織団体等への協力を依頼したり、回覧板等で活動の案内をしている。いずれも健康やエコに関する内容なので出席は良い状況である。

① 共同作業 子供会花植（プランター）



② 農道路肩利用による老人会の植栽



③ 景観形成（菜の花）



④ 地域住民との交流活動（減塩味噌作り）



## ～「ひまわり感謝祭」は地域住民の理解、協力と和～

谷地南部地区活動組織（河北町谷地 地内）

協定面積：137 ha

### 1. 簡単な経緯

- ・環境の整備、美化、又農地の荒廃を防ぎ且つ農家だけでなく地域全体が取り組んで地域の昔ながらの環境を守りつつ、住み良い原風景造りをする。

### 2. 具体的な内容

- ・役員、構成員による先進地視察研修、他組織との交流会でのヒントを得て、休耕地をなくすために地域小学生生徒の参加、地域住民との交流も目的としたひまわりの栽培（30a）を実施。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・農家だけでなく非農家の方の参加にも広く声をかけ多くの方と創意工夫をした。小  
学校生徒から老人会の皆さんまで声をかけ全員参加の体制で事業を推進している。

① 実施前（児童による播種）



② 実施状況（構成員による間引き）



③ 実施状況（ひまわり畑の完成）



④ 実施後（ひまわり感謝祭の開催）



# 美しい農村風景の保全に向けて ～ テングス病から桜を救え!! ～

朴山農地水地域保全会 （金山町朴山 地内）

協定面積：101.8ha

## 1. 簡単な経緯

- ・地域のシンボルでもある桜の木に、テングス病が発生し、花が咲かなくなったり、枯れたりし、樹木の寿命も短くなり、美しい農村景観形成に影響を与えかねない状況になっていた。

## 2. 具体的な内容

- ・テングスが発病した枝を放置しておく、周りの健全な枝にも伝染し、ひどい場合は枯れてしまう。そこで唯一の防除方法である、病巣部分の切除、焼却処分を毎年実施している。
- ・農地・水・環境保全向上対策を契機に、地域のみんなで協力し、共同活動として作業を行っている。

## 3. 工夫した点や協力体制等

- ・構成員による共同活動で実施している。
- ・作業の安全面を考慮し、高所作業車をリースし活用している。
- ・発病の状況により、エリアを決めて毎年実施している。
- ・春の訪れを告げてくれる桜の花を、自分たちの力で守り、より美しく咲かせることができるように取組んでいくとともに、農村風景の保全にも努めていく。

① 花が咲かず緑色になっているテングス病



② 高所作業車を使っての剪定作業



③ のこぎりを使っての剪定作業



④ 剪定した枝は焼却処分にする



## ～ 道路法面を利用した雑草対策で花いっぱい咲かせたい ～

横川新田地区環境保全会 （三川町横川新田 地内）

協定面積：60.2ha

### 1. 簡単な経緯

- ・道路法面の傾斜がきつくかつ広いため草刈作業が危険なことから、カバープランツを張り、花を植栽して雑草対策、景観形成を高めたいと検討した。

### 2. 具体的な内容

- ・花苗の種類は永年性の短期間で分岐旺盛且つ、白色ピンク系の花が咲くヒメイワダシ草を植栽することとし、老人クラブ、婦人会及び花植栽員に植栽、管理等協力していただいた。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・法面が急傾斜で、カバープランツの張る作業中に滑り易かったため、足場を組んで植栽作業を行った。
- ・植栽後晴天が続いたので灌水、植栽切りこみ穴地からの雑草抜き等、協力会員がきめこまかに活動したので、8月上旬には白い花が一面に繁茂し、通行人の関心を引いている。

① 実施前



② 実施状況



③ 実施状況



④ 実施後





## ～ 田んぼアート ～

溝延かわらなでしこ活動組織 （河北町溝延 地内）

協定面積：409ha

### 1. 簡単な経緯

- ・溝延地区は歴史と文化の香る地域です。
- ・溝延小学校の校章にかわらなでしこの紋様が使われていることから、どんな苦しさや厳しさにも耐えながら、強く逞しく、優しい心で生きぬく心を、より一層の共有を図る上で、「かわらなでしこの里づくり」の一環として始まった。

### 2. 具体的な内容

- ・古代米による田のアート（かわらなでしこ）年間活動
- ・古代米の苗による田植え（6月上旬）
- ・稲刈り（9月下旬）
- ・古代米の収穫祭（古代米のおにぎりと地産池消の手作り料理）

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・「地域でやれるものは地域で」の連携を重視して子供たちがパイプ役となり、進めた古代米による田のアート（かわらなでしこ）は、活動組織の関係団体と協調連携して平成19年度から始めた。（平成19年度一輪・平成20年度二輪・平成21年度三輪・平成22年度四輪⇒平成23年度五輪予定）デザインは、溝延小学校の歴代校長にお願いしています

① 実施前



② 実施状況



③ 実施状況



④ 実施後



## ～ 休耕田を活用したアヤメの植栽 ～

松根クリーンネットワーク （鶴岡市松根 地内）

協定面積：133.4ha

### 1. 簡単な経緯

- ・ 地区内農業者の高齢化が進み、遊休農地の発生が懸念されていた。
- ・ 一方で、10年ほど前から自己所有の水田に観賞用アヤメを植栽している構成員がおり、地域住民の目を楽しませていた。

### 2. 具体的な内容

- ・ 既存のアヤメ植栽を本対策の対象に指定し、品種数と植栽面積を増やして「アヤメ園」として整備した。
- ・ 平成22年度は、約7アール・20品種を植栽して広く住民に開放しており、マスコミに取り上げられたこともあって地区外からの鑑賞者が200人を越えている。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・ 地区民の関心を高めるためにアヤメ園の看板を設置し、長年管理してきた地権者の指導の下に、青年団と婦人会が中心となって花の管理や除草作業を行っている

① 看板設置



② 青年団による除草活動



③ 婦人会の花がら摘み活動



④ 満開のアヤメ



## ～ 農業用ため池を活用した景観形成活動 ～

山荒川地域資源保全隊 （鶴岡市羽黒町荒川 地内）

協定面積：30.6ha

### 1. 簡単な経緯

- ・本地区は集落内に農業用ため池があり、地域住民の憩いの場として親しまれており、従来から、農業者と山荒川荒響<sup>やまあらかわこうきょうがくだん</sup>楽団（ボランティア組織）を中心として、ため池の管理や装飾等の活動を実施していた。

### 2. 具体的な内容

- ・本対策の実施を契機として、婦人会によるため池の清掃、子供会による装飾、地域住民による東屋・安全柵の整備補修が行われるなど、活動が活性化している。

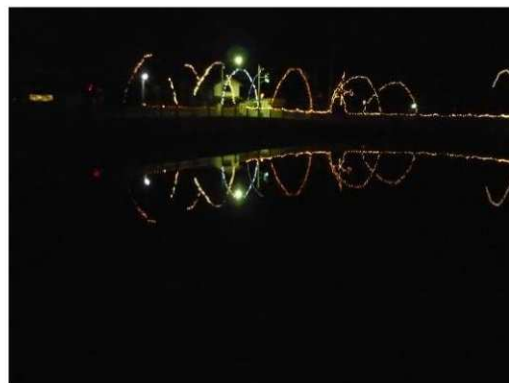
### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・農業者や、従来から活動を行っていた山荒川荒響<sup>やまあらかわこうきょうがくだん</sup>楽団に加え、子供会や婦人会、地区内の様々な業種の方から、各々の分野に応じた協力を得ることができた。

#### ① 子供会による装飾活動



#### ② 荒響楽団によるイルミネーション装飾



## ～ 地域住民等との交流活動・学校教育との連携 ～

横山地域農地・水・環境保全協議会 （大石田町横山 地内）

協定面積：516ha

### 1. 簡単な経緯

- ・大石田町は昔から、「そばの里」としての土壌を培っており、県内外から多くの人たちが足を運んでいる。

### 2. 具体的な内容

- ・本地域は古くから、そばの栽培が盛んで、伝統的な手打ち技法が伝承されている。その伝統を後世に伝えるため、昔から栽培されている、かおりの強い「来迎寺在来」種という、そばの種を蒔き、田沢小学校と連携を図り収穫の後、そば打ち体験を実施している。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・学校と地域の連携を図るため、小学校に組織されている祖父母学級の協力を得て、そばの種まきや伝統的なそば打ち体験を実施することが出来た。

① 子供たちとそばの種まき作業



②



③ そば打ち体験活動



④ 自分の打ったそばで楽しい食事会



## ～ 荒れ畑が白いソバの花に変身しソバ打ち教室も開く～

俎柳農地・水・環境の会 （南陽市俎柳 地内）

協定面積：37.5ha

### 1. 簡単な経緯

- ・ 集落内の比較的交通量のある道路沿いに耕作放棄地の畑があり、景観的にも良くないことから、当会でそばを播き、可憐な白いソバの花を見てもらい、道をとおり人々の心を少しでもなごませることが出来ればとの思いから。

### 2. 具体的な内容

- ・ 荒れた畑を耕し、そばを播いた。畑一面が白いソバの花に変わり、ソバの花を初めて見る人が多かったため地域住民の心を癒してくれた。
- ・ 実ったそばを皆で収穫調整し、冬には収穫したそば粉でソバ打ち教室を開催した。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・ 当地域では現在そばを栽培している人はなく、栽培方法や収穫方法等、初めてのこともあったが、集落内に経験者がおり指導を受けることが出来た。
- ・ 集落内の非農家の方々の協力により、米の収穫時期と重なったそばの収穫や、ソバ打ち教室を実施することが出来た。

① 耕作放棄地



② ソバの花



③ ソバの収穫



④ ソバ打ち教室



## ～ ホームページや看板を利用した啓発・広報活動 ～

沢新田地域を守る会 （庄内町沢新田 地内）

協定面積：147.5ha

### 1. 簡単な経緯

- ・地域内外への情報発信のため、ホームページを利用して啓発・広報活動を行う。

### 2. 具体的な内容

- ・地域や組織の概要、活動報告を掲載して地域外の方へはもちろん、地域住民にも活動内容が見えるようにした。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・組織活動以外の日々の活動も掲載することで、身近な広報として役立っている。
- ・掲示板を設けることで、発信だけでなく受信も行い双方向の情報ツールとして活用している。
- ・活動が見えるようになることで、地域住民の関心も高まり、更なる活動協力につながると思う。

#### ① ホームページ（トップページ）



広報紙（ホームページにも掲載）

#### ② ホームページ（日々の活動）



活動看板設置



## ～ 水田貯留機能向上のための排水調整板の設置と法面補修 ～

ふじしまエコフィールド協議会 （鶴岡市三和 地内）

協定面積：716.9ha

### 1. 簡単な経緯

- ・本地区は、ほ場整備から30年ほど経過しており、個々の農家が簡易的に塩ビ管やヒューム管を設置して排水対応を行っている。
- ・このため、近年発生が増えている豪雨の際には、排水対応と排水施設等の保全に苦慮しており、排水溝畔の洗掘や法面崩落が発生している状況にあった。

### 2. 具体的な内容

- ・バックホーを使用して排水溝畔と法面の補強を行うとともに、水田の排水口に調整板を設置して水田の貯水機能向上を図り、大雨時の水田からの急激な出水の調整を行った。
- ・また、冬期間に水田を湛水調整することで、鳥類等のえさ場として生息環境を整えている。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・農家を中心とした技術者やオペレーター等の積極的な登用によって、彼らの指導下に工程・品質・安全等管理面も含め、適切な作業がなされた。
- ・一部の農家が行ってきた排水操作等への住民理解が広まり、農家組織と防災組織連携による新たな管理体制を築ききっかけとなっている。

① 着手前の状況



② 作業状況



③ 作業状況



④ 冬期湛水状況(白鳥飛来)



## ～ 水源涵養林の保全と間伐材の有効活用 ～

山五十川地区農地水環境保全会 （鶴岡市山五十川 地内）

協定面積：26.6ha

### 1. 簡単な経緯

- ・ 本地域は、集落を囲むように急峻な山地が連なっており、水源涵養林として重要な役割を果たしている。
- ・ これまでも、生産森林組合が主体となって、杉林の下刈りや除伐、枝打ちなどを行ってきたが、林家の高齢化に伴って下草刈りなどの管理作業が負担となっていた。

### 2. 具体的な内容

- ・ 本対策を契機として、林家以外の住民も参加し下草刈りを実施した。
- ・ また、今年度は間伐材を利用してプランターを製作し、集落内の景観形成を図った。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・ 適切な作業分担により、地域の共同活動として実施することで、森林の環境保全、景観形成に対する住民意識が高まった。
- ・ プランター製作は地元の大工さんの指導のもとに手作りで行った。
- ・

① 作業状況（杉林の下草刈り）



② 作業状況（杉林の下草刈り）



③ 作業状況（プランター製作）



④ 作業状況（プランター設置）





## ～ 資源循環活動で水質保全を図りエコ農業 ～

共生の郷吉島資源保全隊 （川西町吉島 地内）

協定面積：965.8ha

### 1. 簡単な経緯

- ・ 本地域は下水道区域外にあり合併浄化槽設置の普及率が低い。
- ・ 生活雑排水が農業用水路に流下し、油脂類等により水質が悪化している。
- ・ 地域では常に水質保全及び環境保全が重要課題でありその対策を急務とされていた。

### 2. 具体的な内容

- ・ 水質悪化の要因として、天ぷら油の廃油があり台所より排出させないこと。
- ・ 食糧用廃油は定期的に、各集落活動隊単位で収集し地区一括で回収する。
- ・ 収集された食糧用廃油は、町内にある油精製所で BDF（バイオディーゼル燃料）となりスクールバスや農業用機械（大豆刈取りコンバイン）・建設用機械等の燃料として活用されている。また、廃油を精製する過程で出る洗浄水は、生堆肥に散水すると発酵促進効果及び消臭効果があり畜産農家で使用している。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・ 事業取組みに対し、地域住民から理解を得るために水質保全及び環境保全の啓蒙活動。
- ・ 廃油の回収は定期的に自治会（衛生組合）が中心になって回収する。

① 食糧用廃油の回収



② 油精製所でBDFの製造



③ BDFを使用する大豆刈取りコンバイン



④ 洗浄水を使用する堆肥場



## ～ 地域参加による間伐材の再利用と景観復活! ～

蕨岡地区農村環境保全会 （遊佐町蕨岡 地内）

協定面積：777.8 ha

### 1. 簡単な経緯

- ・昭和の初期に植栽された桜（通称W坂）が杉及び竹の増殖に伴い、ここ10年位は桜の花も3割程度しか咲かず、桜の名所としてすっかり忘れられた状況である。この事業でW坂のきれいな景観をもう一度見てみたいと思う地域住民からの要望と、農地での材木利用という観点から、杉及び竹を間伐し、それらを再利用することにより、地域に間伐材を還元させ、また、景観整備を図ることを役員会で決定した。

### 2. 具体的な内容

- ・間伐した杉は溝畔の土止め用として板・杭に加工した。杉の葉はモミガラ代用に暗渠排水の疎水材として利用した。
- ・竹は十字に割、暗渠排水の導水管として利用した。

### 3. 工夫した点や協力体制等

- ・間伐は地元の営林署・製材所を退職した方をスタッフとしてお願いした。
- ・加工は地元製材所に委託した。

① 実施前（W坂）



② 間伐作業状況



③ 杉の水路溝畔の土留め板柵として利用



④ 暗渠排水用資材として利用

